

笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る募金よびかけ

2021年3月現在 (順不同・敬称略)

佐藤智眼(関光寺住職) 池辺晋一郎(作曲家) 徐勝(韓国又石大校碩座教授) 尹健次(神奈川大名誉教授) 室田元美(ルポライター) テッサ・モーリス＝スズキ(オーストラリア国立大名誉教授) 小野寺正巳(元拓殖大北海道短期大助教授) 高橋哲哉(東京大教授) 鄭炳浩(韓国漢陽大校教授) 朴善周(韓国忠北大校名誉教授) 鄭有盛(韓国西江大校教授) 徐相萬(Seo Han Internatinal社長) 柳錫津(韓国西江大校教授) 朴錫俊(SJ & Company社長) 鄭泰春(歌手・作家) 朴恩玉(歌手・作家) 金運成(平和の少女像彫刻家) 金曙昇(平和の少女像彫刻家) 鄭明禧(教師) ノーマ・フィールド(シカゴ大名誉教授) 河秀光(朝鮮人強制連行真相調査団事務局長) 富岡達彦(名寄市議会議員) 岩崎泰好(美深町議会議員) 蔡鴻哲(NPO法人東アジア市民ネットワーク副代表) 宋基燦(立命館大准教授) 崔善愛(ピアニスト) 許仁碩(東アジア共同ワークショップ台湾) 谷上隆(強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム事務局長) 金光敏(特定非営利活動法人コリアNGOセンター事務局長) 姜守幸(東アジア共同ワークショップ関西) 田中富士夫(笹の墓標展示館館長) 道又嘉織(東アジア共同ワークショップ関東) 金英丸(韓国民族問題研究所対外協力室長) 金倉泰賢(真宗大谷派宗会議員・高徳寺住職) 金賢泰(NPO法人コリアNGOセンター) 鈴木君代(真宗大谷派僧侶・シンガーソングライター) 小林千代美(NPO法人東アジア市民ネットワーク事務局長) 殿平善彦(NPO法人東アジア市民ネットワーク代表理事・一乗寺住職) 安里英子(NPO法人沖繩恨之碑の会代表) 末次和子(ベルリン女の会) 加藤多一(童話作家) 星野孟(空知民衆史講座事務局長・金光教北海道深川教会長) 塚田タカヤ(フォークシンガー) 菊地登(空知民衆史講座) 堀川恵子(ノンフィクション作家) 影山あさ子(ドキュメンタリー映画監督・森の映画社) 藤本幸久(ドキュメンタリー映画監督・森の映画社) 葛野次雄(静内アイヌ協会会長) 川村シンリツ・エオリバック・アイヌ(川村カ子トアイヌ記念館館長) 森修寛(日本宗教者平和協議会事務局長) 李紅培(在日本朝鮮札幌商工会理事) 古賀清敬(日本キリスト教団教師) 植村隆(韓国カトリック大校客員教授) 小田博志(北海道大教授) 殿平真(たどし認定こども園かぜつこ園長) 吉澤文寿(新潟国際情報大校教授) 宮川恵秀(秀法寺住職) 山階照雄(本願寺津村別院輪番) 小川隆吉(アイヌ民族工カシ) 中川慎二(関西学院大校教授) 伊藤多喜雄(民謡歌手) 小林久公(強制労働真相究明ネットワーク事務局長) 小川徹忍(広島宗教者平和協議会) 小武正教(念仏者九条の会事務局長) 浅野俊道(真宗大谷派樹教寺住職) 殿平有子(イラストレーター) 岡本法治(真宗学寮教授) 中川功(オホーツク地域自治研究所理事) 吉田邦彦(北海道大校教授) 戸田輝夫(元北海道教育大非常勤講師) 金正姫(川崎市民族ふれあい事業講師) 林炳澤(日本の戦後責任を清算するため行動する北海道の会共同代表) 笠嶋彰英(明光寺住職) 中野信之(NPO法人シユマリナイ湖ワールドセンター代表) 結城佳子(名寄市立大校教授) 佐々木光明(12・8戦禍を語り継ぐ会・浄土寺住職) スーザン・メナデューション(立教大校研究員) 朴大宇(北海道朝鮮初中高級学校校長) 山崎龍明(武蔵野大校名誉教授・仏教タイムス社長) 築田哲雄(広島市法光寺住職) 相馬述之(北海道宗教者平和協議会事務局長) 伊藤憲夫(北海道AALA理事長) 山崎忠司(空知民衆史講座) 長谷山隆博(芦別市 星の降る里百年記念館館長) 井上薫(釧路短期大校教授) 近藤伸生(あさひ岳法律事務所 弁護士) 伊碧巖(国平寺住職) 池直美(北海道大校公共政策大校院専任講師) 崔無碍(元暁宗和気山 統国住職) 荒川庸生(日本宗教者平和協議会代表理事・長永寺住職) 小島良秀(曹洞宗秀岳寺住職) 田中清元(曹洞宗宗会議員・薬王寺住職) 池上恵龍(浄教寺住職) 南瀬涉(真宗大谷派16組組長・好徳寺住職) 國富敬二(WCRP日本委員会事務局長) 飛田雄一(強制労働真相究明ネットワーク共同代表・神戸学生青年センター理事長) 尹丁九(僧侶) 山本玉樹(北海道在日朝鮮人の人権を守る会代表) 益子美登里(植村裁判を支える市民の会事務局長) 澁谷真明(真宗大谷派聖台寺住職) 森俊英(遺骨奉還宗教者市民連絡会事務局長・浄土宗正明寺住職) 村中芳之(土別東高等学校教諭) 森田敏春(東アジア市民ネットワーク) 竹本澄雄(美深町農業) 円浄貴之(真宗大谷派澄心寺住職) 植松誠(WCRP日本委員会理事長・日本聖公会首座主教) 宮川秀憲(西英寺住職) 宮川証法(念仏者九条の会北海道) 李起範(韓国・淑明女子大校教授) 村本邦子(立命館大校教授) 小林知子(福岡教育大校教授) 李洙任(龍谷大校 安重根東洋平和研究センター長) 垣原典章(空知真宗教団連合理事長・清雲寺住職) 玄武岩(北海道大校教授) 大町信也(日本聖公会司祭) 沖村民雄(高校生平和ゼミナール全国連絡センター) 佐々木あずさ(スクールカウンセラー) 壹岐伸子(美術家) 坂原英見(広島東光坊住職) 尾畑文正(同朋大校名誉教授) 米本晃子(美深町民) 増岡敏三(憲法を守る室蘭地域ネット) 神沼公三郎(北海道大校名誉教授) 川那辺康一(むくげの会神戸) 森亮一(知床の歴史を語る会代表) 佐藤明彦(北海道歴史教育者協議会) 堀口晃(藻岩犠牲者の碑を維持普及する会共同代表) 石純姫(苫小牧駒澤大校客員教授) 中田光信(日本製鉄元徴用工裁判を支援する会) 高野和枝(鷹栖町たかの巣・ミセスおじさん) 山崎敏勝(山岳ガイド) 佐藤毅(北見から憲法を考える会代表) 富盛保枝(ぐりんぴーす代表) 毛利悠(本願寺派関係学校同和教育推進委員長) 久保寧男(中札内村・元教師) 納村一男(一乗寺檀家総代表) 由井敷(劇団希望舞台代表) 井上洋子(長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会共同代表) 藤田秀雄(立正大校名誉教授・平和の文化をさすく会代表) 大原光夫(浄泉寺住職) 澤野重男(広島高校生平和ゼミナール世話人) 徳村彰・杜紀子(森の子どもの村代表) 杉山四郎(元札幌学院大校教授) 内田可奈子(主婦) 結城章三(全日本年金者組合四條畷支部長) 江連崇(名寄市立大校講師) 中井信介(手わたしプレス・ドキュメンタリー映画監督) 加藤廣一(「真実と平和な世界を求めて」碑 移設実行委員会代表) 藤井幸之助(「猪飼野セツパラム文庫」主宰) 中山節夫(映画監督) 池田行信(浄土真宗本願寺派 慈願寺住職) 山田智善(北海道旭川北高校数学教師) 木村二三夫(平取「アイヌ遺骨」を考える会共同代表) 田中貴文(中国人強制連行・強制労働事件北海道訴訟弁護団事務局長) 高賢佑(映画監督・ノンフィクション作家) 外村大(東京大校教授) 奥田和浩(日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク共同代表) 西千津(カトリック信者) 梁川勝利(北海道「悪魔の飽食をうたう」合唱団団長) 谷内榮(北海道滝川平和遺族会会長・日本キリスト教会滝川教会員) 橋本左内(牧師・元日本宗教者平和協議会理事長) 井上真智子(主婦) 伊藤孝司(フォトジャーナリスト) 石田明義(北海道平和委員会理事長・弁護士) 金静媛(在日本朝鮮人総聯合会山口県本部国際統一部長) ジョアキン・モンテイロ(ブラジル浄土真宗僧侶) 西谷徳道(天徳寺住職) 氏家正実(旭川市民と野党の共同をすすめる6区の会共同代表) 波多野信子(ピアニスト) 関良一(多度志住民) 岡田正直(元市議会議員) 嵯峨治彦(馬頭琴奏者) 管幹雄(平和・国際教育研究会事務局長) 菱木淳一(特別支援学校教員) 吉井健一(護憲ネットワーク北海道共同代表) 北名照美(深川市議会議員) 松本ますみ(室蘭工業大校教授) 篠原宏明(喫茶ふれっぶ店主) 朴権浩(北海道大校協力研究員) 趙博(芸人) 青木勝美(NPO法人アートステージ空知理事長) 兎本道大(国民救援会北海道本部常任委員) 小松豊(札幌郷土を掘る会代表) 富田弘雄(平和と民主主義をすすめる深川懇話会代表) 長縄三郎(ジャーナリスト) 平井敦子(北海道歴史教育者協議会) 曹金時江(日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす北海道の会共同代表) 松村高夫(中帰連平和記念館理事長・慶応大校名誉教授) 具志堅隆松(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表) 金城実(彫刻家) 足利善彰(浄土真宗本願寺派宗会議員・善正寺住職) 笠置信行(浄土真宗本願寺派宗会議員・西報寺住職) 脇谷暁融(北海道同朋運動推進協議会会長・妙覚寺住職) 川口真人(手伝い屋) 小西宏(朱鞠内住民) 立野正裕(明治大校名誉教授) 高松克年(上富良野町議会議員) 高松恵子(百姓一徹ファーム) 谷口健(元東京北区議会議員) 石山春平(川崎市身体障害者協会理事) 福原正和(医師) 滝川康治(ルポライター) 野田正彰(精神病理学者) 斉藤道俊(斉藤道俊法律事務所弁護士) 福浦厚子(文化人類学者) 毛利健三(NPO法人寧楽協働学舎) 岩下美佐子(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟国際部部長) 柿田睦夫(宗教ジャーナリスト) 伊丹恒(北海道新聞写真記者) 澤崎泰彦(實相寺住職) 石橋純誓(非戦平和を願う真宗門徒の会) 平田啓(「悪魔の飽食」をうたう東京合唱団) 金鐘湖(広島県朝鮮人被害者協議会理事長) 川嶋みどり(日本赤十字看護大校名誉教授) 川嶋均(東京藝術大校講師) 林昌平(公立中学校教諭) 小林茂(元新聞記者) 蟻塚亮二(精神科医) 宮崎文子(島原ボランティア協会) 加藤博文(北海道大校アイヌ・先住民研究センター長) 李和美(東アジア共同ワークショップ) 金和子(在日コリアン青年連合KEY) 黄裕子(民族講師) 饗場和彦(徳島大校総合科学部教授) 梁大隆(東京朝鮮人強制連行真相調査団朝鮮人側事務局) 鍋谷美子(東アジア共同ワークショップ) 七尾寿子(植村裁判を支える市民の会事務局長) 深川祥子(東アジア共同ワークショップ) 深川元(東アジア共同ワークショップ) 黄貴勲(在日本朝鮮留学生同盟大坂地方本部委員長) 内田雅敏(四谷総合法律事務所弁護士) 石川隆(元小学校教師) 姜豪峰(学校法人コリア国際学園教員) 鄭景心(ウリハツキョに子どもを送る母) 野上徹哉(北海道高等学校教職員組合札幌支部副支部長) 松井理恵(跡見学園女子大校講師) 総合工芸芸術家だるま森+エリコ 渡辺直子(「基地はどこにもいらない」新潟駅前行動) 佐田恵治(労働運動研究者) 金哲秀(朝鮮大校朝鮮問題研究センター副センター長) 源淳子(女性学研究者) 奥矢敏正(願う人) 石井ボンベ(アイヌ復権運動) 水沢寿郎(米国の原爆投下の責任を問う会事務局長) 吉沢倫子(米国の原爆投下の責任を問う会共同代表) 芳賀晋子(中国帰還者連絡会平和記念会) 星野泰久(中国帰還者連絡会平和記念会) 孝岡楚田(JC日本ジャーナリスト会香川支部会長) 乗松聡子(ピースフィロソフィーセンター代表) 清末愛砂(室蘭工業大校准教授) 柴木純子(日朝協会埼玉県連合会事務局長) 関原正裕(日朝協会埼玉県連合会会長) 林必修(東アジア共同ワークショップ台湾) みかみめぐる(NPO法人みみをすますプロジェクト共同代表) 市川守弘(トマム法律事務所・弁護士) 高野美枝子(名寄市議会議員) 金英鉉(東アジア共同ワークショップ)

東アジアの未来に
希望の種をまこう

「笹の墓標展示館」再生・和解と平和の森を創る 支援募金のよびかけ



強制労働の歴史を伝える
笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る実行委員会
NPO 法人 東アジア市民ネットワーク
韓国・社団法人 平和の踏み石 (평화디딤돌)

www.sasanobohyo.com | 笹の墓標展示館 | @sasanobohyo_museum



強制労働の歴史を伝える

笹の墓標展示館 再生へ

ご協力をよびかけます



北海道北部の雨竜川上流・朱鞠内に、1997年から2000人を越える若者たちが集い続けてきた。東アジア共同ワークショップに参加する日本、アイヌ、韓国、朝鮮、中国、台湾それにアメリカ、オーストラリア、ドイツ、ポーランドの人々です。

第2次世界大戦下に強制動員され、ダム建設の強制労働の犠牲になった朝鮮人、日本人、コリアン労働者の遺骨を発掘して遺族に届ける活動に参加した人々は国境を越えて学びあい、友情を育ててきました。

日本は戦争と植民地支配の過去をめぐって、東アジアの人々と和解と平和を実現したとはいえません。国家の関係はさらに深刻にさえなっています。

朱鞠内に集う人々は、犠牲者の遺骨と出会うことで偏狭なナショナリズムを超え、平和な東アジアを実現しようと歩んできました。

集いの場となった光頭寺は「笹の墓標展示館」と名付けられ、犠牲者の遺骨と位牌を安置し、発掘遺品、強制労働の歴史などが展示されてきました。2020年冬に雪の重みで倒壊しました。

東アジアの未来に希望の種をまくため「笹の墓標展示館」を再生し、和解と平和の森を創りたい。2022年秋に完成を目指しています。

あなたのご支援を心からお願ひします。

笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る実行委員会

共同代表 殿平善彦 田中富士夫
 韓国代表 鄭有盛 鄭炳浩
 台湾代表 許仁碩 林必修

生命の尊さにめざめ民族の和解と友好を願う像 (本田明二 遺作・近藤泉作)

旧光頭寺・笹の墓標展示館ってどんなところ？

強制労働犠牲者を追悼し、歴史の真実を伝え、東アジアの人々が森と湖に集う憩いの場



展示館に安置されている強制労働の死者の位牌

旧光頭寺は日本での植民地時代の強制労働による死者を弔い位牌を安置してきました。1995年に笹の墓標展示館となり、戦争・植民地支配下のタコ部屋労働、朝鮮人強制労働の史実を伝える歴史資料館として公開。これまで多くの東アジア市民の来館と、中高生、大学生の学習と合宿の場所としても活用されてきました。



左：朱鞠内で発掘された強制労働犠牲者のご遺骨に出会う参加者たち



右：遺骨発掘現場（朱鞠内共同墓地）に造られた朝鮮式の土饅頭の墓と追悼碑

た。再生される建物は歴史を伝える資料館として充実させ、共同の出会いと学びの場になります。



1980年から強制労働犠牲者の遺骨発掘がはじまり、1997年には東アジアの若者たちの発掘ワークショップが開催され、23体の遺骨が見つかりました。



「70年ぶりの里帰り」2015年9月に115体の遺骨を韓国に奉還。遺骨を運ぶ人々の多くは遺骨発掘を体験しました。



豪雪地の朱鞠内では毎冬、屋根に積もる雪下るしに集まり、朝鮮高校生や日本の高校生の冬のワークショップが行われてきました。

募金目標 3000万円 展示館は2022年秋に完成予定



在りし日の旧光頭寺・笹の墓標展示館



2020年1月、完全倒壊してしまった

笹の墓標再生のおもな活動内容



自然豊かな朱鞠内湖



ツリーハウスやカヌーも揃っています

ご寄付の方法

- 郵便振替** 郵便局で赤色または青色の用紙をご利用下さい。
番号 **02750-3-103422** 名義 **笹の墓標再生実行委員会**
(ササノボ・ヒョウサイセイジ・ツクウイソノカイ)
- 銀行振込** 銀行・信金・外国送金、その他の金融機関から
ゆうちょ銀行 店名 **九七八** 種別 **普通** 番号 **1666384**
- クレジット決済** sasanobohyo.com → 寄付する



笹の墓標展示館再生 和解と平和の森を創る実行委員会

NPO 法人 東アジア市民ネットワーク
 韓国・社団法人 平和の踏み石 (평화디딤돌)
 協力：強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム
 〒074-0141 北海道深川市多度志 630 一乗寺内
 電話：0164-27-2359 Fax：0164-27-2890
 Email: info@sasanobohyo.com
 ホームページ：www.sasanobohyo.com